

UCLA 西村一郎先生講演会

「疼痛を伴う神経障害」という難病に立ち向かって-研究室の声



西村一郎先生

UCLA 歯学部教授/ワイントロープ再生生体工学研究所

西村一郎

【略歴】

1956年、東京都生まれ。東京歯科大学卒業、ハーバード大学大学院修了(医学博士)。ハーバード大学医学部細胞生物学研究員をへて、同歯学部助教授に就任、再生生体工学研究室を主宰。ハーバード/マサチューセッツ工科大学(MIT)生体材料系大学院ディレクターなどを歴任。1997年、ワイントロープ再生生体工学研究所長としてUCLAに転任。ハリウッド映画関係企業、NIH(米国公衆衛生院)からの資金援助を獲得、2002年にワイントロープ研究所をオープンした。2004年には、国際歯科医学会より最高賞であるディステイングイッシュド-サイエンティストアワードを受賞。260編をこえる主著論文等がある。ワイントロープ研究所で生体工学、ナノテクノロジー、バイオテクノロジーの研究に従事する。現在、UCLA 終身雇用教授、東京歯科大学客員教授。

- 主催 ITDN-Tokyo/歯周病勉強会
(加藤英治/二階堂雅彦)
- 日時 2014年 7月28日(月) 19時~21時
- 会場 東京歯科大学水道橋病院14F 会議室 (JR水道橋駅東口駅前)

「疼痛を伴う神経障害」という難病に立ち向かって-研究室の声

<講演要旨>

今回は、疼痛を伴う神経障害、いわゆる神経痛についてお話をします。私は神経医学という分野の基礎知識が全くないまま、神経障害の研究にはいつて10年くらいたっています。素人目で斜めから眺めてきた神経医学をまとめてみたいと思います。歯科分野での神経障害は、三叉神経痛という原因不明のまれな症状がありますが、抜歯やインプラント治療で偶発症、神経損傷から発生する神経痛もあります。通常疼痛治療には、神経末端と中枢神経をターゲットにした薬物療法がありますが、神経障害は言葉の通り神経そのものが器質的に損傷を受けているので、現在効果のある治療法はありません。こういった経緯をふまえて、現在私たちの研究室で模索している神経障害の研究をご紹介しますとともに、効果が見えてきた新しい治療法について、臨床現場からの批判を受けたいと願っています。

日歯生涯研修登録セミナー (生涯研修カードをお持ち下さい)

UCLA 西村一郎先生講演会

「疼痛を伴う神経障害」という難病に立ち向かって-研究室の声

- 日時 3月28日(木) 午後7時～9時
場所：東京歯科大学水道橋病院13F 大会議室
- 開業医・一般 5000円
- 勤務医 3000円
- 研修医・学生・スタッフ 1000円
- 懇親会 5000円

お申込はメール最後にメールフォームがございますのでご利用ください。

終了後 場所を改め懇親会の予定があります。西村先生のご研究の内容や今後のテーマなどをカジュアルな雰囲気でお話し合える絶好の機会です。多数のご参加をお待ちしております

<お申込について>

☆下記の申し込みを利用していただき、メールまたはFAXにてお申し込みください。下記の口座に前日までに会費及び懇親会参加の方は、懇親会費用を合わせてお振り込みをお済ませください。

=== 「振り込み口座」 ===

西武信用金庫 中目黒支店

普通口座 2024346 (有)ITDN - TOKYO 加藤英治

(振り込み手数料はご負担くださいますようお願いいたします)

西村一郎先生講演会2014

参加申込フォーム

○印をおねがいします☆

- 講演会・懇親会 円× 人数
- お名前
- 住所
- 所属
- 連絡先 (携帯電話)
- メールアドレス

メール送信先 加藤英治 kato_dt@d5.dion.ne.jp

FAX03-3714-1515 (送信音自動切替)

<お問合せ先・連絡先>

加藤歯科 〒153-0051 東京都目黒区上目黒1-26-1 ANNEX209

TEL 03-3714 1313 加藤英治

ITDN-Tokyo (Implant&TissueEngineering Dental Network-Tokyo)